

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ボディサイエンス		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	40回 (80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験21年 長年に渡るバレエ・コンテンポラリーダンサーとしての身体感覚と、大学で学んだ解剖学・運動学などの学術的知識を武器に、独自の姿勢改善メソッドで音楽大学にて演奏家のパフォーマンス向上を支える。また、パーソナルストレッチトレーナーとしても活動。他、家業である芸能事務所にて、俳優のマネジメントや経理を担当				
授業概要					
セルフプロデュース力を高めていく為に「食生活・姿勢改善」について徹底的に追究していく。栄養学の基礎を学び、美容健康に効果的な食事メニューを考え日々の生活で実践できるようにする。また、ストレッチとトレーニングを通して無理なく良い姿勢を保持できるようにしていく。					
到達目標					
タレント・俳優・モデルとして常に最高のパフォーマンスを生む為に、自分で自分の身体を管理できるようになること。また、その意識を高めること。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	現状確認 (体組成測定、姿勢チェック&写真撮影) 体脂肪率・内臓脂肪レベル・BMI・基礎代謝・骨格筋率などの説明 ストレッチ
【前期】 6～10回目	栄養学の基礎…「代謝のいい体」とは？ 自分にちょうど良い摂取カロリー・炭水化物の量 ストレッチ
【前期】 11～15回目	抗酸化作用のある食べ物・免疫力を高める工夫 ストレッチ・トレーニング
【前期】 16～21回目	疲労回復のために・むくみ予防のために ストレッチ・トレーニング
【後期】 22～26回目	現状確認 (姿勢チェック&写真撮影) ストレッチ・トレーニング
【後期】 27～31回目	自律神経について…心のケアも大切 ストレッチ・トレーニング
【後期】 32～36回目	自律神経と免疫機能 ストレッチ・トレーニング
【後期】 37～40回目	ストレッチ・トレーニング 姿勢チェック&写真撮影…1年間でどう変わったか確認
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	学んだ知識を日常生活にどんどん取り入れていくように意識しましょう。 日常生活をいかに丁寧に過ごすか、それが何より大切です。
使用教科書	必要に応じて適宜プリント等資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	セルフスタイリング		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	40回 (80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴5年 二十歳から第一線で活動し、オールラウンダーとして映像や雑誌、企業広告、着物ヘア等々、ジャンル問わず幅広く活躍。				
授業概要					
キチンとしたメイクの方法やスタイリングを学び、自分をより良く魅せる為のスキルを習得します。					
到達目標					
各場面 (普段、ステージ上、プロフィール写真用など) に合わせ、それぞれ異なったメイクやファッションが必要となるので、自分に合った方法を見つけることが目的です。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	<ul style="list-style-type: none"> ヘアスタイルとヘアメイクの重要性 それぞれの場面(普段、プロフィール、仕事)でのヘアメイクの違いなど
【前期】 6～10回目	<ul style="list-style-type: none"> スキンケアについて・メイク道具の基礎知識 肌の特徴について・肌のトラブルについて
【前期】 11～15回目	<ul style="list-style-type: none"> 顔の特徴について(自分の顔を分析する) パーソナルカラーについて(自分が得意な色味を知る) フェイシャルマッサージについて
【前期】 16～21回目	<ul style="list-style-type: none"> ベースメイクについて 眉毛のメイクや整え方 目元のメイク(アイライン、アイシャドウ)
【後期】 22～26回目	<ul style="list-style-type: none"> チーク・リップ ヘアメイクとの組み合わせ方 ヘア道具(コテ、ヘアアイロンの使い方)
【後期】 27～31回目	<ul style="list-style-type: none"> スタイリング剤の種類と使い方 服装について 自分の体にあったサイズの選び方、色の組み合わせ方
【後期】 32～36回目	<ul style="list-style-type: none"> 服装での季節感について・メイクとの合わせ方 流行のファッション、カラーについて・小物の使い方
【後期】 37～40回目	<ul style="list-style-type: none"> ヘアスタイル、メイク、ファッションを総合した自分のプロデュース 自分らしさを生かしたキャラクターの作り方・ヘアメイクの重要性
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	間違った方法でメイクをすると、肌のトラブルの原因にもなりますので、基本から学びましょう。メイク一つでその人自身の印象も変わるので、自分をキチンと表現する方法を見つけましょう。日々のスキンケアも大切ですので、生活習慣を疎かにせず、自分の健康も考えてください。
使用教科書	必要に応じて適宜プリント等資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	分野別講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	38回 (76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	声優芸能科 全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	各科目担当講師				
授業概要					
専攻コースの授業内では習得の難しい様々な分野の基礎知識を、動画配信によるオンライン授業形式で行う。					
到達目標					
自身が音楽・芸能活動や仕事を行う上で、大半の事は自分で理解・判断し、達成への方法論を自ら考え出せる事を目標とする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の進路に向けて① (デビュー) 音楽活動における基礎知識① (リハーサルスタジオの使い方)
【前期】 3～8回目	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基礎知識① (ギター、ベース、ドラム) 発声の基礎知識① (台詞、滑舌、歌唱) 身体表現の基礎知識① (ダンス)
【前期】 9～15回目	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の進路に向けて② (進路) イベントの基礎知識① (PA、照明、イベント資料の作成方法) 身体表現の基礎知識② (ポージング)
【前期】 16～18回目	<ul style="list-style-type: none"> 音の基礎知識 (電源、マイクの原理、音の仕組み、デジタル変換) 発声の基礎知識② (アフレコ)
【後期】 19～23回目	<ul style="list-style-type: none"> イベントの基礎知識② (ライブ、レコーディングの基礎知識、進行方法) 身体表現の基礎知識③ (殺陣)
【後期】 24～27回目	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の基礎知識② (ピアノ、管楽器) 音楽活動における基礎知識② (譜面の読み方・書き方、楽器メンテナンスの方法)
【後期】 28～34回目	<ul style="list-style-type: none"> パソコンの基礎知識① (スペック、オーディオ、ビクチャ、ムービーについて、Photoshop、illustrator)
【後期】 34～38回目	<ul style="list-style-type: none"> 身体表現の基礎知識④ (ボディサイエンス、脚本演出) パソコンの基礎知識② (Word、Excel) 表現応用 (イベント研究)
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	今の時代、ある程度の事は自分一人で出来るスキルが求められます。「興味がない、関係ない」で終わらせず、自分自身の為に学ぶという意識を持って取り組んでください。
使用教科書	習得する内容に合わせて、随時テキストデータをPDF形式で配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ウォーキング&ポージング		授業形態/必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経歴14年 国内外で活動するファッションモデルとして東京コレクションなどのブランドファッションショーやスチール広告などの他、ミュージックビデオや企業CM・ラジオなど多岐に渡って出演。 ミスターコンテストの日本代表として世界大会に出場した経験も持っている。				
授業概要					
姿勢・視線・表情・考え方等、タレント・俳優・モデルに必要な基本的知識と技術を学び、ウォーキングとポージングの基本技術を通して自己表現の幅を広げていく。					
到達目標					
モデルの基本技術を身に付け、目的に合わせたウォーキング・ポージングができるようになる。 また、それを通して自分が目指していくものを具体化していき、自分の表現スタイルを見つける。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルという職業についての基本知識 ・仕事の種類や求められるスキル等について ・普段の生活からの心持ち等
【前期】 6～10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・スタイル、体調管理、体のケア、仕事獲得までの流れ 等について ・基本的な立ち姿、姿勢、歩き方の基礎 ・平靴(スニーカー等)での歩き方について
【前期】 11～15回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ファインダー越しの世界(画角)を知り、自分がどう見えるかの研究 ・基本的なポージング基礎と表情について
【前期】 16～21回目	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強みとなる角度、表情、歩き方、手の使い方、メイク等について ・自分のクセや苦手分野の克服
【後期】 22～26回目	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポジットの作り方を知る ・革靴やヒールでの基本的な歩き方 ・ターンについて ・テンポに合わせたウォーキングスキル
【後期】 27～31回目	<ul style="list-style-type: none"> ・服装やテーマに合ったポージング ・仕事ジャンルによる求められるポージングの違いについて ・小物の使い方について
【後期】 32～35回目	<ul style="list-style-type: none"> ・シチュエーション別の歩き方とポージングについて ・CM等の映像におけるモデルに求められる演技について
【後期】 36～40回目	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊な服装(和装やドレス)でのウォーキングやポージングについて
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ウォーキングやポージングが必要なのはモデルだけではありません。 この授業を通して表現者としてだけでなく、普段の生活から一流の人間として見られるよう成長していきましょう。
使用教科書	必要に応じて適宜プリント等資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ダンス（基礎）		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	40回（80単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	併優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験17年 ダンスチームに所属し、チームとして数々のダンスコンテストで優勝経験を持つ。メジャーアーティストのバックダンサーや、映画、ドラマなどに多数ダンサー出演し、振り付け等も担当。				
授業概要					
身体の姿勢、使い方のチェックから、基本的なステップ（リズムの取り方）を学ぶ。 発表会を通して、ダンスの基本を習得する。					
到達目標					
ステージングや、舞台演出に必要な基本的な動きを習得する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	ストレッチ、アイソレーション リズムトレーニング、体幹トレーニング
【前期】 6～10回目	BOX リズムとステップの練習曲
【前期】 11～15回目	リズムステップの練習 コンビネーション
【前期】 16～21回目	リズムステップチェック 前期試験曲振り付け
【後期】 22～26回目	課題曲振り付け
【後期】 27～31回目	振り固め
【後期】 32～35回目	課題曲振り付け、振り固め
【後期】 35～40回目	後期試験曲振り付け
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	踊る為には筋力、柔軟性、姿勢が大切になるので、毎日のトレーニングに努めてください。
使用教科書	必要に応じて適宜プリント等資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ヴォイトレ & 表現歌唱 (基礎)		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	39回 (78単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験18年 数々のミュージカルの舞台に立ち、ボーカルユニットではツアーやレコーディングなど精力的に活動。現在はボイストレーナーとして、「疲れない声の使い方」を重点的に指導。				
授業概要					
歌を歌う為に必要なトレーニング方法を学ぶ。					
到達目標					
歌唱に必要な基礎技術(呼吸、発声、姿勢、リズム、など)を習得する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	姿勢、腹式呼吸、体幹 (身体作り)
【前期】 6～10回目	基礎を活かし、ブレスコントロール
【前期】 11～15回目	声帯の使い方、ストレッチ
【前期】 16～21回目	口腔内の広げ方、表情筋トレーニング
【後期】 22～26回目	母音歌唱
【後期】 27～31回目	舌トレーニング、滑舌、子音
【後期】 32～36回目	響き作り
【後期】 37～39回目	4月からの応用
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	声の土台作り、身体の使い方を学び、歌唱する際の基盤を作り、コントロールできるようにしていきましょう。
使用教科書	習得する内容に合わせ、随時プリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	業界知識総合講座		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	40回 (80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験36年 元アナウンサー。リポーターやキャスターとして活躍。ラジオでは有名女優のアシスタントを務めたのをはじめ多数出演し、パーソナリティーとしてレギュラーで活躍した。				
授業概要					
芸能界における業界知識を学ぶと共に、業界において自分自身を魅力的に発信していく為のノウハウを学ぶ。					
到達目標					
人前で表現する基礎力を身に付ける。芸能界に進んだ際の対応力を習得すると共に、自己発信力を習得する。 芸能界に進んだ際の対応力を習得すると共に、よりハイレベルな自己発信力を習得する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	芸能界の仕組みについて。人前で表現する基礎力について (話し方)
【前期】 6～10回目	業界マナーについて (挨拶、話し方)
【前期】 11～15回目	一般常識・ビジネスマナーについて (話し方、メール、敬語)
【前期】 16～21回目	人前で表現するバリエーションと後期番組制作について (フリートーク、番組制作の準備)
【後期】 22～31回目	SNSを使用した自己の発信方法について (Youtube Shorts / TikTok / instagram等)
【後期】 32～40回目	SNSを使用した自己の発信方法について (実践)
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	業界は常に動いています。それに対応する為の知識を、自身でも実践しながら身に付けていきましょう。
使用教科書	使用プリントは毎回講師が配布。実践の際には端末操作の上、指導。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	オーディション対策		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	40回 (80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験21年 長年に渡るバレエ・コンテンポラリーダンサーとしての身体感覚と、大学で学んだ解剖学・運動学などの学術的知識を武器に、独自の姿勢改善メソッドで音楽大学にて演奏家のパフォーマンス向上を支える。また、パーソナルストレッチトレーナーとしても活動。他、家業である芸能事務所にて、俳優のマネジメントや経理を担当				
授業概要					
俳優としてやるべき事を芸能界の商流から明確にし、自立した俳優になる為に必要なことを学ぶ。					
到達目標					
プロフィール写真や用紙の準備などを含め、全て自分で活動出来るようになることを目標とする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	オリエンテーション 商流・メールの基本マナー 1分間フリートーク・自己分析
【前期】 6～10回目	自己PR研究 自己分析
【前期】 11～16回目	事務所選びで大切なこと 事務所研究 自己分析
【前期】 17～21回目	試験・フィードバック プロフィール作成
【後期】 22～26回目	自己PR研究 (プロフィールと自己PRのバランスを考える) プロフィール完成 ゲスト講師による講義・フィードバック
【後期】 27～31回目	自己PR研究 学内審査・学内オーディション・フィードバック
【後期】 32～36回目	セルフテープ作成の注意点・作成 模擬エントリー
【後期】 37～40回目	試験・フィードバック 自己PR・セルフテープ作成→鑑賞会
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	自分をいかに知ってもらうか、相手に伝える場がオーディションです。その為には自己分析による武器探しが大切となるので、自分自身としっかりと向き合ってください。
使用教科書	習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台演技（基礎）		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	39回（78単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験19年 大学在学中に劇団に在籍。舞台・映像作品への出演を重ねながら殺陣稽古を主催し、パフォーマンス集団の代表を務める。数々の映画やテレビ作品に出演している。				
授業概要					
様々な役を演じ、舞台での演技表現とテクニックを学ぶ。					
到達目標					
舞台上で自由に動ける役者・魅力的なキャラクターを演じられるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	ガイダンス（初回）舞台基礎知識座学。アップとして発声滑舌基礎。
【前期】 6～10回目	アップにシアターゲームを追加し、身体表現・感情解放の基礎を学ぶ。適宜台本レッスン。
【前期】 11～15回目	授業内発表稽古。短い台本を用いてのミニ公演を行い実践感覚を獲得する。
【前期】 16～21回目	前期公演稽古。
【後期】 22～25回目	「間」を上手く使えるようになる為のサブテキスト、舞台上を自由に動く為の行動動機付けレッスンを行う。
【後期】 26～29回目	エチュードレッスンを行い、自発的表現・客観的視野を養う。
【後期】 30～34回目	履修の技法を用いた総合的な台本レッスン。進級公演準備。
【後期】 35～39回目	進級公演準備・稽古
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	身体表現を行う為、動きやすい服装で受講する。
使用教科書	既成、作成台本を適宜配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像演技（基礎）		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分（1単位時間45分）	年間授業数	39回（78単位時間）	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験19年 12歳から市民子供ミュージカルの舞台に立ち、大学でミュージカルコースを専攻。卒業後は大劇場や小劇場の舞台から映像、ジャンルも現代劇から時代劇まで幅広く活躍。				
授業概要					
映像台本・CMコンテなどを使用し、実践的に撮影手順・カメラワークを学ぶことによってデビュー後撮影現場（CM、ドラマ、映画）に対応できる力をつける。					
到達目標					
応用的な表現手法を学び、様々な演出に対して演技プランを提示できる俳優を目指す。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	ガイダンス 俳優という仕事とは？舞台と映像の同様点、相違点など。
【前期】 6～10回目	シーンレッスン① ワンシーンを分析・カメラの前で演じる・チェック・再度トライ
【前期】 11～15回目	シーンレッスン② 同じシーンをアップや引きなどで撮り、同じ芝居を何度も行えるようにする
【前期】 16～21回目	役や動きの引き出しを増やす。現場で自分が用意したものと違うものを求められた時に即座に対応できるようにする。
【後期】 22～25回目	映像制作
【後期】 26～29回目	映像制作
【後期】 30～34回目	映像制作・チェック・反省
【後期】 35～37回目	参考映像の上映会
【後期】 38～39回目	撮影と試写の繰り返し、また、お互いので取り合うなどして、シーンを俯瞰して捉えられるようにする。
評価方法	学期末の試験、及び平常点（授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価）
学生へのメッセージ	撮影期間は髪型・衣装・メイクがつながるよう注意する。
使用教科書	既成、作成台本を適宜配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	殺陣&アクション (基礎)		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分 (1単位時間45分)	年間授業数	40回 (80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験21年 2003年よりTVドラマ出演し、以降多くのドラマや舞台、映画等で俳優として活躍。国内外で活動する殺陣パフォーマンスチームを主催し、自身も殺陣師としても活動中。				
授業概要					
基本の所作や立ち振る舞いなど、安全を第一に考えて行います。 着付けや型など、殺陣の基本を学びます。					
到達目標					
舞台やドラマで必要になる立ち廻りの基本技術の習得を目標とします。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	【殺陣】帯、袴の付け方、畳み方/刀の構え方、振り方 【アクション】パンチ、キックの打ち方
【前期】 6～10回目	【殺陣】基本の型19手習得 【アクション】パンチ、キックの捌き方
【前期】 11～15回目	【殺陣】対面での素振り 【アクション】対面での素振り
【前期】 16～21回目	【殺陣】1対1の立ち回り 【アクション】1対1の立ち回り
【後期】 22～26回目	【殺陣】二刀、逆手の基礎稽古 【アクション】回転蹴り、マット運動を使った技の取得
【後期】 27～31回目	【殺陣】1対複数人の立ち回り 【アクション】1対複数人の立ち回り
【後期】 32～36回目	【殺陣/アクション】舞台表現の立ち回り
【後期】 37～40回目	【殺陣/アクション】映像表現の立ち回り
評価方法	学期末の試験、及び平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	一歩間違えれば怪我にもつながりますので、遊び半分な気持ちではなく真剣に向き合ってください。
使用教科書	習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	声優芸能実地演習 I		授業形態 / 必・選	演習	必修
			年次	1年次	
授業時間	180分 (1単位時間45分)	年間授業数	7回 (28単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	声優芸能科 全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当				
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等における対応、現場における進行の様子・作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					

授業計画・内容	
1回目～2回目	舞台観劇 特別授業、イベント
3回目～4回目	前期公演
5回目～6回目	楽園祭
7回目	特別授業、イベント 進級公演
評価方法	平常点 (授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布